

第五十回・傘寿記念

日本工芸会正会員

山岸 幸一 赤崩双袖展

「自然とともに蒔遊」

私の個展として五十回の節目を迎えることが出来ました。

自然の中の光・音・動・味・臭の五感を感じながら

それぞれの生命をいただいた蒔から糸をつくり、

天然染料で染めて、全身を使って織り上げる。

大地の恵みに感謝し、一作一点精魂を込めて

記念展に相応しい織物を製作しております。

山岸 幸一 拝

一九四六年十月十八日米沢布生まれ、一九七五年米沢布赤崩に工房開設。

一九九〇年伝統工芸新作展日本工芸会賞受賞、

二〇〇〇年日本伝統工芸展奨励賞（文化庁買上げ）、以降数々の賞を受賞。

一九九六年、重要無形文化財保持者であった北村武資氏の（羅）の伝承者養成研究会（参加）

新品種の開発にも取り組み、二〇〇三年黄金蒔「春来蒔」、

二〇〇六年白い紅花「保光」を新品種登録。

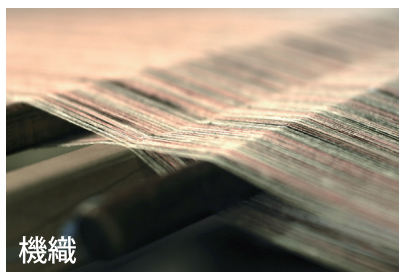
そうした長年にわたる染織技術の開拓普及に対し、

二〇一三年には齋藤茂吉文化賞を受賞したほか、

同年、ポールラ伝統文化振興財団より伝統文化ポールラ賞地域賞が授与されました。

現在も自然の恵みを大切にしたい持続可能なものづくりで確かな製品を作り上げる技術、

そして、その技術を次の世代に伝える活動に尽力しています。



機織



糸洗い



糸干し



山岸 幸一